

大和郡山市子ども・子育て会議
平成27年度 第1回会議

○開催日時

平成28年3月22日（火）午後2時～

○開催場所

大和郡山市役所 議会第1委員会室

○出席者

委員 12名

生田委員、乾委員、大倉委員、葛本委員、菅家委員、高田委員、畑山委員、
森田委員、山田委員、吉野委員、米田（育子）委員、米田（紀子）委員

（敬称略 五十音順）

事務局 5名

○傍聴人数

なし

○次第

1 開 会

2 議 題

（1）矢田認定こども園について

（2）大和郡山市子ども・子育て事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状について（報告）

3 閉 会

○議事

1 開 会

事務局：ただ今より、平成27年度大和郡山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

本日は、ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私はこども福祉課の榎並でございます。本日の会議資料の確認をさせていただきます。

～配付資料の確認～

事務局：本日は傍聴の申請もございませんので、開会にあたりまして、会長からご挨拶を頂き

たいと思います。

生田会長：本日はお忙しいなか、お集まり頂きありがとうございます。昨年のこの会議から、早いもので1年が経ちました。東京では桜が開花したとのことで、春も足元まで来ているのを感じます。春は出会いの季節ですが、別れの季節でもあります。私の勤務する保育園では、昨日が卒園式でした。ここで小学1年生の子どもが書いた詩をご紹介します。たいと思います。「入園式では僕が泣き、卒園式ではママが泣く」。大変短い詩ではありますが、入園式を泣きながら参加していた子どもの成長ぶりが、本当によくわかる詩だと思います。子どもは本人の成長は当然のこと、保護者や周りの人たちも、子どもの成長に合わせて成長します。これからも、希望を持って未来に向かって輝いていけるような子育てを大和郡山市で実現させていきたいと思います。

それでは早速ですが、議題1号：矢田認定こども園の進捗状況について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：それでは、矢田認定こども園について説明させていただきます。お配りしました、「(仮称) 矢田認定こども園の概要」という1枚ものの書類をご覧ください。現在、市で進めております矢田認定こども園の概要についてご説明いたします。

名称ですが、(仮称)大和郡山市立矢田認定こども園と名称で事業を進めております。

所在は大和郡山市矢田町地内で、下に地図がございますのでご覧いただけますと、ちょうど東に奈良工業高等専門学校西どなりに、もと市のシルバー人材センター跡地がありまして、こちらの市の土地を活用して建設いたします。

開園時期は平成30年4月です。開園の理由につきましては、矢田幼稚園及び矢田山保育園を廃園、廃止し、幼保連携型の認定こども園の開園によりまして、市民の教育・保育ニーズに対応しますと同時に、課題となっております両施設の耐震基準を満たしていない現況の解消をはかるものとしております。具体的に申し上げますと、矢田地区にあります矢田幼稚園と矢田山保育園におきましては、建物の耐震診断を実施しました結果、耐震性を満たしていないという結果が出ました。安心・安全な建物で、教育・保育を実施するため、大学の公共施設の専門家との共同研究も踏まえながら、検討しました結果、施設の課題となっている耐震性・年数経過による劣化性などを解決する方法として、コスト面、市の土地の有効活用などから幼稚園と保育園を統合して、保護者が働いている、働いていないに関わらず利用できるなど、メリットが多い認定こども園を新たに建てることに至りました。このたび、議会の承認を得まして、平成28年度に矢田認定こども園の建設工事費が予算化されました。平成30年4月の開園に向けて進めていくものでございます。以上、4番目の開園理由でございます。

敷地面積は、6,398.06㎡です。

建築面積は1,081.448㎡です。

次に、利用定員の説明をさせていただきます。利用定員の設定に関しましては、子育て会議において、審議事項となっておりますので、もう少し具体的に説明させていただ

きます。3月現在、矢田幼稚園は、児童数36人、矢田山保育園は、児童数76人、合計112人です。矢田認定こども園の利用定員を180人に設定いたしましたのは、市内唯一の認定こども園である「治道認定こども園」（大和郡山市横田町）において、幼稚園から認定こども園に移行してから、児童数がどんどん増えましたことや、また児童のおよそ半数が地元の地区以外から通っておられる現状を踏まえ、市内の広域からの入園希望者を想定し、利用定員を180人に設定したものでございます。大和郡山市の多くの教育・保育ニーズに対応していきたいと考えておりますので、どうかご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

生田会長：ありがとうございました。事務局から説明いただきました。議題1：矢田認定こども園の進捗状況について、何かご質問、ご意見はございますか。

ないようでしたら、議題1について、事務局案を「承認する」という事でよろしいでしょうか。

(全員挙手)により全会一致にて承認となる。

生田会長：それでは、その他の報告事項に移らせて頂きます。「大和郡山市子ども子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：それでは「大和郡山市子ども子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」について資料に沿って報告させていただきます。資料はA4・5枚横向きの「大和郡山市子ども子育て支援事業計画・量の見込み、確保内容に対する現状」をご覧ください。現状実績につきましては、主に平成27年12月末日のデータを使用させていただいております。各表については、事業計画段階の「平成27年」の数値を色付けしておりますので、その数値と右から2列目の「現状実績」の数値を確認していただきます。なお、両数値の差を参考として右端の列にお示ししております。

まず、1枚目「児童人口推計」ですが、平成27年推計では0歳「567人」に対し、12月末の現状は「599人」、1～2歳「1283人」に対し、「1249人」、3～5歳「2104人」に対し、「2004人」、6～8歳「2123人」に対し、「2172人」、9～11歳「2272人」に対し、「2257人」、児童人口合計は「8349人」に対し、「8281人」で推計より実績が68人下回っております。

次に「幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策」ですが、1号認定の平成27年計画値「1003」に対し、実績値は「811」、2号認定「912」に対し、「937」、3号認定0歳「166」に対し、「132」、3号認定1・2歳「497」に対し、「559」であります。見込みに比べて実績は1号認定は1

92人少なく、2号認定は25人多くなっております。また、3号認定は実績が0歳児は少なく、1.2歳児が多くなっております。

続きまして、2枚目をご覧ください。「地域子ども子育て支援事業の量の見込みと確保方策」の(1)延長保育事業ですが、平成27年推計「557」に対し、実績は「628」です。(2)放課後児童クラブ事業については1～3年生は平成27年「279」に対し実績値は「463」、4～6年生「153」に対し「163」で箇所数は11箇所に変更ありません。(3)子育て短期支援事業は、平成27年「126」に対し実績値「10」、施設数は6箇所です。

3枚目をご覧ください。(4)地域子育て支援拠点事業は、平成27年「1726」に対し、実績値「680」、施設数は5箇所です。(5)一時預かり事業は1号認定の幼稚園在園者、平成27年「4510」に対し、実績は「1142」、2号認定の幼稚園在園者は1号認定の数値に含まれております。上記以外は、「5050」に対し「206」であります。(6)病児病後児保育事業は、現状の実施はしておらず、平成28年4月から郡山東保育園で実施予定でありますので現在の実績はございません。

4枚目ですが、(7)ファミリーサポートセンター事業は、1～3年で平成27年「410」に対し、「9」4～6年「211」に対し「180」であります。(8)利用者支援事業については、共に1であります。

5枚目はすべて保健センターの事業となります。(9)乳児家庭全戸訪問事業は、平成27年「660」に対し「455」。(10)養育訪問支援事業は平成27年「10」に対し「9」。(11)妊産婦検診は、平成27年「934」に対し、「788」であります。以上でございます。

生田会長：この資料の数値は平成27年度末のものですか。

事務局：この数値は平成27年12月末現在のものです。

米田(紀)：この現状の数値に対して、どのように考えておられるのですか。

委員

事務局：計画に対して、マイナスの数値となっているものについては、特別な対応は必要ないと思われませんが、プラスとなっている部分については、対策が必要かと考えております。特に、幼児期の学校教育・保育の量の確保方策として、1号認定の「-192」、3号認定の0歳の「-34」は良いとして、3号認定の1歳及び2歳が「+62」と大幅にオーバーしていることについて、保育係とも協議いたしました。平成30年の確保量として、先ほど説明させて頂きました「矢田認定こども園の開園」、そして「郡山東保育園及びふたば保育園の建て替えによる定員増加」により、市全体として、幼児期の学校教育・保育の量の確保を図りたいと考えております。

生田会長：他に何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。もし、会議終了後に気づかれた点等がありましたら、事務局までお知らせ頂ければ結構ですので、よろしく願いいたします。それでは、すべての議事が終了しましたので、これをもちまして、私の司会を終了させて頂き、事務局にお願いしたいと思います。

事務局：本日ご審議頂きました内容につきましては、後日、市のホームページで掲載させて頂く予定でございます。本日はありがとうございました。

以上